



2024年1月15日

各位

会社名 川口化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 秀行
(コード番号 4361 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経理部長 本間 義隆
(TEL 048-222-8024)

2023年11月期連結業績予想数値と実績数値との差異に関するお知らせ

2023年1月13日に公表いたしました2023年11月期連結累計期間(2022年12月1日～2023年11月30日)の連結業績予想数値と本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年11月期連結業績予想数値と実績数値との差異

(2022年12月1日～2023年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 250	百万円 250	百万円 180	円 銭 147.84
実績数値(B)	8,610	353	344	255	209.88
増減額(B-A)	△390	103	94	75	
増減率(%)	△4.3	41.2	37.6	41.7	
(ご参考)前期実績 (2022年11月期)	8,368	293	302	218	179.75

2. 差異の理由

原材料価格、エネルギーコスト及び物流費高騰の影響を受け、利益確保が難しい状況の中、全社規模でのコスト削減、急激な為替変動に対する原材料調達並びに販売における迅速かつ柔軟な対応、コスト上昇に応じた製品への価格転嫁に総力を挙げ、期を通じて適正利益の確保に努めました。

当社の関連の深い自動車産業においては、中国でのEV需要の加速によるガソリン車販売の低迷、他の海外市場では景気低迷の影響を強く受けたものの、国内では半導体不足による減産影響が一巡して自動車生産が回復することにより、当社の販売は上向きました。

また、医療用途脱水縮合剤や、電子材料向け中間体、電子材料用途脱水縮合剤、環境用薬剤など、顧客の増産対応要請が高まった製品について、臨機応変な対応と効率的な生産を行って需要に的確に応えました。

これらのことにより、売上高は当初見込みに僅かに届きませんでしたが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について当初見込みを上回ることとなりました。

なお、配当予想につきましては、当初の予想数値からの変更はございません。

以上